報告書

2016 (公財)全国高体連卓球専門部 ベトナム遠征

2016.8/23~30



主催 (公財)全国高等学校体育連盟卓球専門部

スナップ写真

















平成 28 年度全国高体連卓球専門部海外遠征

- 1. 大会名 2016 ベトナム ゴールデンラケット大会
- 2. 大会期日 平成28年8月23日(火)~8月30日(火)
 - *集合8月23日(火)8時30分「関西空港国際線出発カウンター」集合
 - 8月22日(月)前泊(希望者のみ)
 - *解散 8 月 30 日 (火) 8 時 「関西空港」到着後
- 3. 会 場 「The Stadium of Nguyen Du Culture & Sport Center」 116 Nguyen Du street, Ben Thanh Ward, District 1, Ho Chi Minh City
- 4 宿泊先 「Hotel SAI GON STAR」

114 Nguyen Thi Minh Khai Q1 Hochiminh city http://www.saigonstarhotel.com.vn/index.php

5. 日 程

1	8/23(火)	8:30 10:30 13:50	集合「関西空港」、結団式 関西空港発 VN321 便 ホーチミン空港着
2	8/24(水)		練習
3	8/25(木)		
\downarrow	\downarrow		大会
6	28(日)		種目 団体・シングルス
7	8/29(月)	00:05	移動など
8	8/30(火)	7:20	ホーチミン空港発 VN320 便
			関西空港着 解団式 解散

6. 役員·選手名簿

P 口傳					
役 職	氏 名	所 属			
男子監督	今枝 一郎	(公財)全国高体連卓球専門部強化委員			
IJ	熊谷 勝明	(公財)全国高体連卓球専門部強化委員			
女子監督	武田 和久	(公財)全国高体連卓球専門部副理事長			
JJ	瓜生 勝己	福井県立福井商業高等学校			
	沼村 斉弥	山口県:野田学園高等学校			
	宮本 春樹	愛知県:愛工大名電高等学校			
田フ電工	小林 准也	島根県:松徳学院高等学校			
男子選手	蛭田 龍	福岡県:希望が丘高等学校			
	渡井丈人士	静岡県:静岡学園高等学校			
	田中 佑汰	愛知県:愛工大名電高等学校			
	木村 香純	大阪府:四天王寺高等学校			
	枝松 亜実	岡山県:山陽女子高等学校			
女子選手	山本 笙子	福井県:福井商業高等学校			
女) 医于	弓立美沙輝	埼玉県:正智深谷高等学校			
	鹿股まりな	東京都:武蔵野高等学校			
	青木 千佳	福井県:福井商業高等学校			

平成28年度全国高体連卓球専門部ベトナム遠征 結果

THE 2016-30th OPEN GOLDEN RACKETIHNTERNATIONAL TABLE TENNIS TOURNAMENT

男 子 団体 日本A(沼村、宮本、田中)3位 日本B(渡井、蛭田、小林)予選敗退

シングルス 入賞者なし

女 子 団体 日本A(枝松、木村、山本)3位 日本B(弓立、猪俣、青木)3位

シングルス 枝松 亜美 3位

男子 団体 予選Aグループ 日本B(グループ5位)

日本B 1-3 韓国 日本B 1-3 ユナン (中国)

日本B 3-2 ベトナムA 日本B 2-3 CÊEMENT HT (ベトナム)

日本B 3-1 マレーシア

団体 予選Bグループ 日本A(グループ2位通過)

日本A 3-2 香港 日本A 3-0 タイ

日本A 3-0 ベトナムB 日本A 2-3 インドネシア

日本 A 3-1 ホーチミン

準決勝 日本A 0-3 韓国

女子 団体 予選 A グループ (グループ 2 位通過)

日本 B 3-1 韓国 A 日本 B 1-3 ホーチミン

日本B 3-2 ユナン (中国) 日本B 3-0 インドネシア

団体 予選 B グループ (グループ 2 位通過)

日本 A 1-3 香港 日本 A 3-0 タイ

日本A 3-0 マレーシア 日本A 3-0 韓国B

準決勝 日本A 1-3 ホーチミン

男子シングルス

田中佑汰 予選 A グループ (グループ 3 位敗退)

2-3 KIM GANG WOOG (韓国)

1-3 AKHMAD DAHLAN HARURI (インドネシア)

3-0 WONGTHONGKUM KITTISAK ($\beta \uparrow$)

3-0 NGUYEN TIEN DANG VU (ホーチミン)

渡井丈人士 予選グループ B (グループ 5 位敗退)

1-3 HE XIANG (ユナン・中国)

2-3 LE TIEN DAT (ベトナム)

3 − 1 CHENG PAK HEI (香港)

1-3 MUHAMAD ASHRAF HAIQAL (マレーシア)

0−3 NGUYEN VAN NGOC (台湾)

宮本春樹 予選グループ D (グループ 3 位敗退)

- 2-3 GILANG MAULANA(インドネシア)
- 0-3 QI JIA WEI (ユナン)
- 3-0 LE VAN DUC (ベトナム)
- 3-1 KHAU VU NGOC LAN (ホーチミン)

沼村斉弥 予選グループ F (グループ 2 位通過)

- 0-3 MAJIAN (2+2)
- 3-0 AN SU DONG (韓国)
- 3 − 0 WONG HO HIN (香港)
- 3-1 LUKI OKTORA (インドネシア)

蛭田 龍 予選グループ G (グループ 4 位敗退)

- 3-2 YON MARDIYONO (インドネシア)
- 0-3 CHO JI HOON (韓国)
- 3-1 MAUNGWHAN CHAYADEJ $(\beta 1)$
- 1-3 NGUYEN THANH NAM (ベトナム)
- 3-1 LE DINH DUY (ホーチミン)

小林准也 予選グループ H (グループ 2 位通過)

- 0−3 LAM SIU HANG (香港)
- 3-0 GONG FAN (2+2)
- 3-1 BUI THE NGHIA (ベトナム)

第2ステージ 1回戦

沼村斉弥 3-4 KIM GANG WOOG (韓国)

小林准也 4-3 LI HON MING (香港)

第2ステージ 2回戦

小林准也 1-4 QI JEI WEI

女子シングルス

弓立美沙輝 予選 A グループ (グループ 3 位敗退)

- 1 − 3 NG WING NAM (香港)
- 3 0 POUNGSRI CATHAREEYA (タイ)
- 1-3 ZHAO LIN (ベトナム・PETROSETCO チーム)

青木千佳 予選 B グループ (グループ 1 位通過)

- 1-3 XU ZUO JIA RONG (ユナン)
- 3-2 NG: BACH THANH THU (ベトナム・PETROSETCO チーム)
- 3-2 LEE SI EUN (韓国)
- 3-2 SARI. MONAPSORN (タイ)

枝松亜実 予選 C グループ (グループ 2 位通過)

- 3 − 0 ALDA RAHAYU CANDRA (インドネシア)
- 2-3 LAM YEE LOK (香港)
- 3 − 0 JEONG DA EUN(韓国)

木村香純 予選 C グループ (グループ 1 位通過)

- 3-1 KIM YEON RYEONG(韓国)
- 3-0 ARDELIA GIAN NOVITA (インドネシア)
- 3-0 TRAN NG: THANH TRUC (ベトナム・PETROSETCO チーム)

山本笙子 予選 G グループ (グループ 4 位敗退)

- 3-2 KHET. TAMOLWAN $(\beta 1)$
- 1-3 CHEN YING (ユナン)
- 1−3 LI CHING WAN(香港)
- 2-3 OH HAE SUN (韓国)

鹿股まりな 予選 H グループ (グループ 1 位通過)

- 2-3 MAI HOANG MY TRANG(ベトナム・PETROSETCO チーム)
- 3-0 KHARISMA NUR HAWWA (インドネシア)

第2ステージ 1回戦

青木千佳 1-4 CHEN YING (ユナン)

木村香純 1-4 NG WING NAM (香港)

枝松亜実 4−1 LI CHING WAN (香港)

鹿股まりな4−1 LEE SI EUN (韓国)

第2ステージ 2回戦

枝松亜実 4-2 鹿股まりな

第2ステージ 準決勝

枝松亜実 1−4 NG WING NAM (香港)

⑦ 男子シングルス 第 2 ステージ 2 回戦 小林准也 1-4QI JEI WEI を追記

2016ベトナムゴールデンラケット大会に参加して

男子監督 帝京安積高校 熊谷 勝明

2016ベトナムゴールデンラケット大会に参加する機会を頂き、ありがとうございました。8月

22日前泊し、23日に団長の武田先生・女子担当の瓜生 先生・男子選手6名・女子選手6名・私を含め総勢15名 で関西国際空港から出発となり、今枝先生が一日遅れての 合流となりました。海外遠征ならではの、パスポートに関 するトラブルに武田先生と瓜生先生が冷静な対応で無事べ トナムに到着し、現地法人の富岡氏にお世話になりながら ホーチミンでの大会スタートになりました。ホテルから会 場に移動する際の、今まで見たことのない数のバイク・ス



クーターの合間を恐る恐る渡る経験は、私も選手も貴重な体験でした。期間中は競技運営にも携わっている富岡氏と、ベトナムに柔道整復師として仕事に来られている福地氏のサポートで、安心して試合に臨むことが出来ました。福地氏には選手・スタッフ共に体調面でしっかりカバーして頂きました。

大会前半の団体戦で男子日本は、Aチームが2位で予選リーグを通過し準決勝に進出、3位入賞となりました。Bチームも善戦しましたが、長時間に及ぶ激戦を制することができず、予選リーグで敗退しました。しかし大接戦だった経験は貴重な体験となり、選手の成長も感じられました。後半の男子シングルスでは、予選リーグで沼村選手(野田学園)と小林選手(松徳学院)が2位、田中選手・宮本選手(愛工大名電)が3位、蛭田選手(希望が丘)が4位、渡井選手(静岡学園)が5位で、沼村・小林両選手が決勝トーナメントに進出しました。田中選手と蛭田選手は予選リーグ最終戦の結果次第では決勝トーナメント進出もありえた惜敗でした。ベスト16からの決勝トーナメントでは、沼村選手が韓国のカットマンに3-4の惜敗、小林選手は香港の選手に4-3で激戦を制し、準々決勝で中国選手に1-4で敗れました。最終的に小林選手が対戦した中国選手の優勝となりました。

大会を終えてみて、外国選手は用具(ブースター?)の問題もありますが、スピード勝負のパワー卓球で、逆に日本選手の線の細さやパワー不足を痛感しました。また、外国選手は勝負に対してダーティな部分もあり、日本選手は相手に合わせてしまって試合の主導権を取られてしまう様子も感じられました。サーブに関しても、ブツ切れの下回転と意表を突くスピードサーブ、そしてYGサーブも当たり前のように使ってきました。日本の男子選手には、「①パワープレーでは厳しいので、前陣での接近戦で戦う。②ループを含む回転と緩急で相手を崩す。③相手のチキータを外すためフォア前とバックロングへのサーブの組み立て。」をリクエストしながら戦い、ループでの崩しは特に有効でした。実際に蛭田選手・小林選手はサービスエースも数多く取り、二人とも前陣でブロックやカウンターができたときは外国選手を上回るプレー内容でした。選手たちには、「日本代表」としての自覚をもって戦い、「高校生の代表」という意識をもって行動するよう伝えてきました。選手たちには大会での経験を生かしさらにレベルアップして、「日の丸」を胸にチームジャパンで活躍する姿を期待しています。私も日本のレベルアップに少しでも貢献できるよう頑張りたいと思います。

今回、団長の武田先生をはじめスタッフの先生方、さらに現地でお世話いただいた富岡氏と福地氏には心から感謝しています。またこの機会を与えてくださった全国高体連卓球専門部にも感謝申し上げます。ありがとうございました。

このたび、2016ベトナムゴールデンラケット大会に参加させていただきました。私はこの大会に監督として複数回参加させていただいておりますが、今回も本当に素晴らしい大会だと感じました。

大きな理由として、参加選手の年齢層が幅広い、レベルが 丁度いい(日本男子高校生が一生懸命がんばって、ぎりぎ り勝てるかどうか)、負けても試合がたくさんできる、現地 で富岡さんがきっちりフォローしてくれる、ホテルと会場 が近く徒歩で移動できる。などです。

男子Aは団体予選リーグでインドネシアとの大激戦に敗れ、勝った方が決勝トーナメントに出場できるという試合になった香港戦を激闘の末破り、ベスト4に入ることができました。インドネシアとの試合終了時刻は現地時間の夜



の12時を過ぎており、香港戦は次の日という厳しい状況を選手たちの頑張りによって3位入賞を果たすことができました。緊張感ある中での試合、試合終了時間を含め、日本では経験できない貴重な体験をしました。選手たちも感じることが多かったと思います。自チームのことで恐縮ではありますが、特に田中選手(愛工大名電)の試合ぶりは一戦ずつ成長を感じるものがありました。戦術、サーブ、コース取りなど大会中、試合中に変化を感じることができました。また沼村選手(野田学園)も大事な試合の大事な場面で作戦変更を受け入れ、勝利を勝ち取ってくるという、力強い試合をしてくれました。3位入賞に二人の力は大きく貢献したと思います。

男子Bは厳しいグループリーグであったのですが、3選手が持ち味をそれぞれだし、各チームと激戦を演じていましたが、あと一歩のところでベスト4を逃しましたが、共感できる試合ばかりでした。特に小林選手の試合はどんなに劣勢であっても、粘り、追いつき、最後どうか・・・という試合ばかりで、彼の粘りに多くの外国選手は苦労したことと思います。

シングルスは小林選手のベスト8が最高でしたが、どの選手のどの試合も大接戦になり、リーグの結果もあと一歩の結果ばかりでした。こういった結果からも改めて、日本男子高校生には丁度いい素晴らしい大会だと言えると思います。大会後半は私自身の不注意から体調を崩し、多くの方にご迷惑とご苦労をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。最後になりましたが、武田先生をはじめ、熊谷先生、瓜生先生、現地の富岡さん、そして企画していただいた全国高体連の方々に深く感謝申し上げ、報告書といたします。

女子監督 福井商業高校 瓜生 勝己

この度はベトナムゴールデンラケット大会に女子監督として参加させていただきありがとうござい

ました。海外遠征の監督を務めることは私自身初めての経験であり、また自分の学校の選手だけではないということも含め不安がありましたが、同行していただいた武田和久先生、今枝一郎先生、熊谷勝明先生のご指導、ご支援をいただき無事に遠征を終えることができました。この場をお借りして心より感謝申し上げます。

ベトナムに着いてからは、現地で卓球メーカーの代理店を されている富岡さんに終日お世話になり何不自由なく大会に 参加することができました。海外で大会に臨むときは、富岡



さんのような現地の事情に詳しい方の存在が非常に大きいと痛感し、富岡さんには感謝の念で一杯です。また、柔道整復師をされている福地さんには日本チームに帯同していただき体のケアはもちろん食事の手配、ホテルから会場の行き来もお付き添いいただきましたこと、心より感謝致します。

大会には、男女とも例年とは違い 2 チーム(3 人ずつ)で参加しました。団体戦も個人戦も予選リーグを行い上位 2 チーム(個人戦は 2 人)が決勝トーナメント(団体はベスト 4 、個人はベスト 1 6)に進出し優勝を争います。 団体では、予選リーグ初戦は多少堅さも見られましたが、A ・ B チーム 共に予選リーグ 3 勝 1 敗で決勝トーナメントに進むことができました。 A チームは、最終の香港戦を 1-3 で落としましたが、負けた試合のうち 2 試合がセットオールということで惜しい試合となりました。B チームは、初戦こそ落としましたが、続く韓国 A 、中国雲南省との接戦を乗り切り予選を 2 位で通過しました。決勝トーナメントは、共に予選で 1 敗ずつしたチームで、A チームがベトナム、B チームが香港との対戦となりました。テレビ中継の中、両チームとも健闘しましたが、残念ながら力及ばず A チームが 1-3 、B チームが 0-3 で敗れ、A ・B チームともに 3 位となりました。決勝は白熱した接戦となり地元ベトナムのチームが 3-2 で勝利しました。

個人では、6人中4人が決勝トーナメントに進みました。準々決勝では日本人同士の対戦もありましたが、枝松(山陽女子)が準決勝に進出しました。相手は団体の予選リーグでセットオールを展開した香港のエースだったので期待をしたのですが、相手の気迫にも押され1-4で敗れ3位となりました。決勝はベトナムと香港のエース対決となりましたが、団体戦をリベンジする形で香港の選手が優勝しました。

大会を通じて感じたことは、①日本の選手以外は、ほとんどが男子のような両面裏ソフトの選手であったこと。(パワー卓球) ②両面裏ソフトの選手の中で、日本選手のバックの表ソフトのプレーが効果的であったこと。逆に 両面裏ソフトの選手は、相手のパワーに押される場面があった。③短いサーブを出したときに、鋭いツッツキで返されて攻撃ができなかったりミスを誘われたりした。多少浮いて返されても強打ができない場面があった。他にもありますが、特に感じたことは以上の内容です。特に③については、早速意識して取り組みたいと思います。

今大会中、監督として6人の選手に対し、試合はもちろんだがラケットを持たない時間も日本の高校生の代表であるという自覚を持って行動するよう伝えたところ、全員が日本に戻るまで自覚ある行動を取ってくれたことをうれしく思います。また、解団式でも伝えましたが、選手にはこの経験を生かしてさらなる活躍を期待するとともに応援したいと思います。

最後に、このような貴重な経験をさせていただいた全国高体連卓球専門部の先生方に感謝申し上げ 報告書と致します。本当にありがとうございました。

女子監督 全国高体連卓球専門部 副理事長 武田 和久

昨年に引き続き、2度目の参加となりました。今年は、開催時期がインターハイ終了後、そして 第30回の記念大会ということもあり、1年生も含め男女各6名、団体戦も各2チームエントリーし

ました。私自身も女子のBチームの監督としてベンチに入り選手の活躍により沢山の感動を戴くことができました。今年は、男子団体戦で5番手までもつれる試合が多く、日本男子Bチームの試合終了が夜中の12時(日本時間午前2時)を過ぎることもありました。試合は勿論、表彰等で大会中午後10前にホテルに戻れた日は1日もないくらい選手にとって過酷な日程でした。

高校生が選手として出場しているのは日本チームだけで、大会



3日目・4日目を他国の選手が疲れを見せはじめている中、我々日本の高校生は、疲れを見せること無く、最終日まで元気あふれるプレーを繰り広げてくれました。女子の試合を見て感じたことは、福井商業の瓜生先生と全く同じです。全国高体連卓球専門部副理事長という立場で今大会を総括すると、男女4チームがエントリーして3位が3チーム・個人でも3位が1人という成績は賞賛に値すると思われます。(同時期。中国で日中韓が開催)そして予算上可能であれば、今後も男女各6名の参加を検討してはどうかと思います。

最後になりましたが、今大会の企画・運営に当たられたベトナム・ホーチミン市卓球連盟そして現地で我々日本選手団のお世話をして下さった富岡武侯さん・福地英介さんそして監督をして同行して下さった熊谷勝明先生・瓜生勝己先生・今枝一郎先生の先生方にこの場をおかりして、衷心より感謝申し上げます。

野田学園高校 沼村 斉弥

自分は、このゴールデンラケット大会に初めて参加させていただき、課題がいくつか出ました。まず技術面については、レシーブがぜんぜんうまくできず相手に先手を取られる事が今大会でたくさんありました。普段受けた事がないようなサーブがくるので、少し戸惑ってしまいました。

しかし団体の時に今枝先生からのアドバイスで「もう 少しサーブもレシーブも工夫しろ。」と言ってくれて、そ



のアドバイスのおかげで強い選手にいい勝負ができたと思います。また、海外の選手と交流ができ、 とてもいい経験になりました。とくに英語の単語で会話をする事がいいなと思いました。また、日本 とは全く違う環境で卓球をして、海外の選手がどういう練習をしているかわかりよかったなと思いま す。5回の遠征で得た事を今後の全日本やインターハイに活かせられるように頑張ります。

松徳学院高校 小林 准也

僕は、この遠征に参加できて、本当にいい経験をすることができたなと思いました。結果は、シングルスベスト8で団体戦ではリーグ敗退というシングルは自分の納得いくような結果だったけれど、団体では僕が2点取って来なければいけない時に、逆に2点落としてしまい、チームに迷惑をかけてしまったかと思っています。

まず僕が気持ちの面で足りないと思う所は、リードした 場面の時にすぐ受け身になってしまう所だと思います。最 初は、思い切っていけるけれど勝負がかかった時に、どう



しても相手のミスを待って勝たせてくれないかなと思ってしまい、自分らしいプレーができなくなることが多いです。これからは、そのような場面でも自分から攻めていくことが大切だなと今回で思いました。

次に技術の面では、サーブ、レシーブの強化が必要だなと思いました。特にレシーブがYGサーブに対して何もできないのがダメだなと思います。ノーマルサーブに対しては、チキータやストップをきれいにできるけれど、YGに対しては、入れることしかできないです。もっとチキータやフリック

で狙っていけるようにしたら勝てるんじゃないかなと思いました。あと、サーブは、今の所1種類しか自信のあるサーブがないので、もっと逆回転系のサーブを作っていかないとだなと思いました。

初めての国際大会ではあったけれど、自分が思っていた以上に勝つことができて、すごく自信になりました。また、日本に帰ってからも結果を残せるように頑張っていきたいです。ありがとうございました。

愛工大名電高校 田中 佑汰

今回ベトナム遠征に参加して、卓球の面での文化の違いや、国そのものの文化の違いについて経験することができました。卓球の面では普段の国際試合でシニアの人たちとする機会がなかなかないので、ボールの質、卓球スタイルなどさまざまな違いに改めて気づき経験することができました。

また、試合中に問題が起きた試合や抗議になった際に、 自分の意見を伝える時に英語が必要になってしまって、そ



の点でもう一度改善して次の大会の時には自分の意見を相手や審判に伝えられるようにしようと思いましたし、英語を覚えると海外に出た時に色んな場面で役に立つことを改めて実感しました。試合の流れではジュニアサーキットとほとんど一緒でその点では心配はなかったけれど、あんな遅くまで試合することはほとんど無いし、相手も強いからその分疲労が溜まってしまって、そういう部分でも自分の未熟さ、甘さを感じました。来年でもこの大会に出られるよう今後もがんばります。

愛工大名電高校 宮本 春樹

今回のベトナム遠征は自分にとって初めての海外での試合で楽しみと緊張、不安があったけれど、終わってみると自分の課題がたくさん見つかる試合でした。ベトナムに来る時は食事のことや虫がいるとのことで普段とは全然違う生活なので心配はしていたけれど食事の問題は全くありませんでした。生活面の他に環境面ではベトナムではスコールがあるということで湿気がたくさんあって、自分が練習している所よりも暑くて、最初は合わせることができなか



ったけれど途中から合わせることができて良かった。試合では、日本人とはボールの質もスピードも全然ちがって上手くいくことが少なかった。考え方も違うので作戦をたてにくい部分もあった。自分から攻めることや仕掛けることが少ないため相手が感じる自分にしてはいけないことが無かった。同じことの繰り返しだったので考え方を変えて新しいことができるようになる。自分は経験が少ないのでまた合宿があれば是非参加したい。

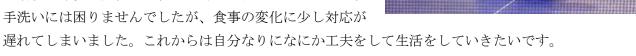
希望が丘高校 蛭田 龍

今回ベトナム遠征に参加させていただき、日本にとどまっていたら気づかなかった課題や、反省点また日本と違った環境への対応などの経験が出来ました。

まず技術面においては、相手のパワーに押されぎみになりレシーブを緊張してプレーしてしまうと 自分のプレーが出来なくなり、勝てないという試合がありました。なので、フォア前レシーブからの

パターンを確立してしっかり攻めるプレーを使っていこう と思います。そして今枝先生に言われた相手を見てプレー するという課題です。自分自身、手前コートのことばかり きにしていて、相手のコートや相手を見ていませんでした。 今回そのことを言われ、自分から質の高いボールを送らず とも、高さを調整して相手を見れば、いつもとは違う形で 点数が取れるなと思いました。

最後に環境の変化には、前に海外に行ったこともあり、 手洗いには困りませんでしたが、食事の変化に少し対応が



静岡学園高校 渡井 丈人士

今回ベトナム遠征に参加させていただき、とても良い経 験が出来ました。私は初めての海外遠征で、今まで日本で は気づけなかった事や、初めての環境や天候など学べる事 がたくさんありました。私はそのような環境に上手くなれ ずに、自分の力を十分に発揮する事が出来ずに終えてしま いました。この悔しい経験をバネにして次はベストパフォ ーマンスで出来るようにしたいです。

まず技術面で大きな課題として、相手が緩急をつけて打

ってきたボールに対してのブロックやカウンターです。私の特徴であるカウンターは、飛んでくるボ ールに対しては打てるのですが、相手が低く浅い回転量の多いボールに対して、手だけが出てしまい、 体がついていけてません。なので、回転負けしてしまい、ミスがほとんどでした。しっかりと目的を 持ちプレーをしないと、そのラリーの未来性も悪く、1点が取れないので、その場で合ったプレーを するようにしたいです。

また、海外の選手と試合をして改めて台上の重要性、積極的な攻めが大切だと思いました。自分よ り上の選手と試合をする時は、どれだけ自分の良い展開にもっていけるかが鍵になると思うので常に 細かなプレーに意識をおくように意識をしていこうと思います。

今回はこのような体験が出来た事に感謝をして、チームのレベルアップ、自分のレベルアップに活 かしていきたいです。

今回、ベトナム遠征に参加させていただいてたくさんの 経験が出来ました。まず、団体戦があって予選リーグで香 港に負けて2位で上がり、準決勝ではベトナムに負けまし た。普段は違うチームでやっていますが、代表になって色 んなチームの選手と団体を組ませていただいて、とても貴 重な体験でした。

また、シングルスでもベスト4に残ることが出来、色ん な国の選手と試合をすることが出来ました。海外の選手は ボールが重くて、とても回転がありました。そのボールに

山陽女子高校 枝松 亜実



対してタイミングが合わせられなかったり、ブロックが出来ていなかったので、母校に帰って練習していきたいです。しかし、自分のブレーが海外の選手に効いている部分もあったので自信になりました。次の大会は、国体や全日本なので、今回の経験を活かして、優勝目指して頑張ります。八日間本当にありがとうございました。

福井商業高校 山本 笙子

初めての国際大会に参加して本当に良い経験になりました。自分の力が世界にはどれだけ通用するか楽しみでした。一般の人という事もあって威力が全然違ったりと学べる事もたくさんありました。技術面では、もっと精度を高めてその中で緩急をうまく使えるようになることが課題だと思います。実業団が相手だと2本や3本で決まらないから、返されてもミスなく打てるように練習します。でも苦手な相手に緩急をつけられた時に対応できるように少しはなっ



てきたと成長も感じました。精神面では、年上相手だから強気で向かって試合すればいいのに強いからどうしようと自信無さそうに試合をしてしまっていました。

最後には、こんなに強い選手と試合をさせていただく事に嬉しさと楽しさを味わいながらプレー出来たと思っています。このような経験を自信にしたり、母校で練習したりしてまた活躍できるような選手になりたいです。8日間本当にお世話になり、ありがとうございました。

四天王寺高校 木村 香純

今回ベトナム遠征に参加させて頂いてとても良い経験ができました。最近では、攻めの卓球を意識して練習していて今回の試合で3球目の回りこみを多く使うことができて良かったです。3、4球目を攻めやすくする為にはもっとサーブ・レシーブをより厳しくしなければチャンスボールが来ないので母校に戻ったらサーブ、レシーブをもっと磨きたいと思います。また、海外の選手は緩急をつけることが上手で試合を



していて前後に揺さぶられてやりにくかったので私も試合になったらもっと前後を意識して相手を動かしたいと思いました。全体的な敗因は力負けも少しあるのですが、ちょっとした微調整や回転の変化をつける技術が圧倒的に負けていました。

今回の試合でとても良い経験ができました。今後、この遠征でできた課題をこれから生かしていき、 練習で磨いていきより良い成績を残せるように頑張ります。また、コミュニケーションを取れる様英 語をもっと頑張ります。

武蔵野高校 鹿股 まりな

私は、今回初めて国際大会に出場することができました。初めての試合でとても緊張するところもありましたが、思い切ってプレーをできるところもあり、団体戦では、予選リーグの3試合目で中国のユンナン省と当たり、2-2のラストで私が回ってきました。勝てば3位に入れるチャンスだったので、思い切ってプレーをしました。すると、いつも以上に良いボールが出てユンナン省の選手に、

3-0で勝つことができてとてもうれしかったです。あと、 私は、自己管理に気をつけて、行動をしました。ベトナムの 氷でお腹をこわしたという話しも聞いたし、水道水でもお腹 を壊すと聞いていたので、食事のときでも、氷や曖昧な水は、 できるだけ飲まないように注意をしました。道路を渡るとき もバイクやクルマがたくさん通っている中を信号もないので ひかれないようにと気をつけました。次は大学生になるけれ ど、またこのような機会があったら参加できるように頑張り ます。



福井商業高校 青木 千佳

私は、ベトナム遠征にいって多くの事を学ぶことができ ました。水や食べ物を食べる時、自己管理の大切さを学ぶ ことができました。ベトナムの生水は、日本とは違ってき れいな水ではないし、食べ物も食べたらお腹をこわしそう な食べ物もあって注意しながら食べなくてはいけなくてと ても大変でした。交通状態も良くなくてとても大変でした。 たくさんのバイクが道路を通っていて、わたる時にすごく 大変でした。日本より、何倍もバイクや車の数が多くてと ってもびっくりしました。



また、海外の選手は、ボールにすごい威力があって、日本とは全然違う回転力で試合の時すごくや りにくかったです。なので、そういう選手とやる時は、緩急をしっかりつけることが大切だと感じま した。普通に打ち合っていたら勝てなかったので、緩急をしっかりつけたら点をとることができまし た。ベトナム遠征を終えて、自分の課題を見つける事が出来たので次に向けて練習していきたいです。

> 正智深谷高校 弓立 美沙輝

今回、ベトナム遠征に参加させていただきたくさんのこ とを学びました。私は国際大会が初めてだったのではじめ は不安でした。でも先生方をはじめ、いろいろな方が支え てくださり試合では自分の力を出すことができました。

技術面で学んだことは、相手にプレッシャーを与えられ るように自分から先手をとっていくことが大事だというこ とです。私は、ブロックで変化をつけて相手にミスをさせ る卓球をしています。でも、海外の試合に出て強い選手と 対戦してみるとブロックだけでは勝てないと分かりました。これから、攻撃力を上げて世界で活躍で きる選手になりたいです。



精神面で学んだことは、外国の人は我慢する習慣がないため、嫌なことを何度もされると我慢でき なくて諦めてくれることが多いということです。

今回のベトナム遠征を生かしてこれから卓球でも人間的にも成長していきたいです。